



こうのす

9月定例会

2025.11.15

第80号

議会だより

発行 埼玉県鴻巣市議会

〒365-8601 埼玉県鴻巣市中央1番1号

TEL 048(541)9001 FAX 048(541)1327

ホームページ <https://www.city.kounosu.saitama.jp>



写真タイトル／「帰り道」

撮影者／田中淳二さん

撮影場所／さきたま緑道の北鴻巣寄り

12月
定例会

開催予定日は

11月27日(木)11時

12月2日(火)9時

12月4日(木)9時

12月5日(金)9時

12月9日(火)9時

12月10日(水)9時

12月12日(金)9時

12月15日(月)9時

12月17日(水)9時

本会議(開会)

本会議(議案・請願質疑、委員会付託)

文教福祉・まちづくり常任委員会

政策総務・市民環境常任委員会

本会議(一般質問)

本会議(閉会)

※上記日程は、都合により変更になる場合があります。

●9月定例会の主な内容●

審議議案……………P2～6

- ・令和6年度鴻巣市一般会計決算
- ・条例の一部改正、補正予算、各会計決算

一般質問・行政委員に対する質問…P7～10

シェイクアウト訓練・行政視察受入実績・「こんにちは県議会です」の紹介・P11

提出議案とその結果・議会だより表紙募集・P12



マチイロ 掲載しています。

スマートフォンでこうのす「議会だより」をチェック！



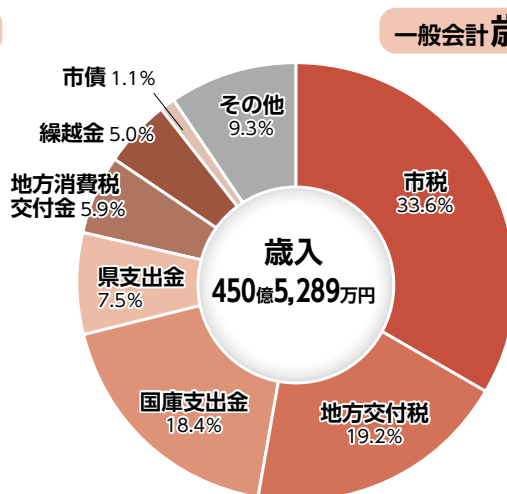
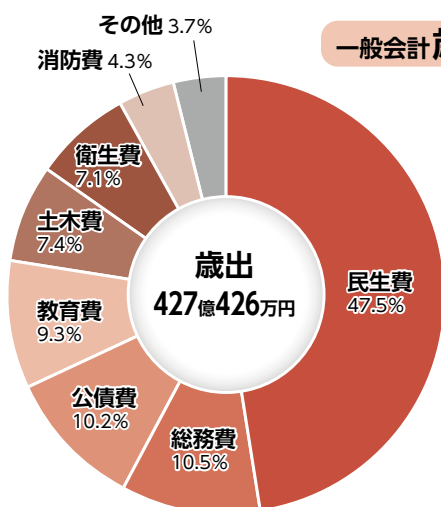
本会議映像(ライブ・録画)を
インターネット配信しています。

鴻巣市のホームページから鴻巣市議会→議会中継にてご覧ください。



を認定

歳出 427億426万円



一般会計決算目的別歳出内訳表

区 分	使 い 道	金額 (千円)	総額に対する割合 (%)	前年度比 (%)	住民1人当たり額 (円)
議 会 費	議会運営等	273,173	0.6	3.6	2,326
総 務 費	職員や庁舎の管理費、財政、徴税、選挙等	4,473,077	10.5	4.0	38,078
民 生 費	福祉、高齢者福祉、国民年金、子育て等	20,292,057	47.5	9.9	172,738
衛 生 費	健康増進、ごみ処理、環境衛生等	3,025,313	7.1	△ 6.6	25,753
労 働 費	雇用促進、勤労者支援等	62,418	0.2	△ 20.0	531
農林水産業費	農業、土地改良等	649,662	1.5	12.7	5,530
商 工 費	商工業、観光振興等	609,928	1.4	7.1	5,192
土 木 費	道路、公園、区画整理事業等	3,178,156	7.4	△ 3.7	27,054
消 防 費	火災、風水害等	1,836,306	4.3	6.5	15,632
教 育 費	学校教育、社会教育、スポーツ振興等	3,967,324	9.3	△ 6.5	33,772
災 害 復 旧 費	災害復旧に係る諸経費	0	0.0	0.0	0
公 債 費	市債などの返済金	4,336,849	10.2	△ 2.0	36,918
合 計		42,704,263	100.0	3.7	363,524

9月定例会は、9月5日から10月2日までの28日間の会期で開催されました。市長から提出された「令和7年度一般会計補正予算(第4号)」「令和6年度鴻巣市一般会計決算認定について」など28議案が上程され、いずれも同意・可決・認定しました。また、最終日に、議員提出議案として1議案が上程され、否決となりました。提出議案とその結果については、12ページをご参照ください。

令和6年度の決算

一般会計 歳入 450億5,289万円

令和6年度当初予算で注目した主な事業

金額(千円)

①未来をひらく人材を育て、確かな学びと文化が根付くまちづくり

地域子育て支援事業	46,130
こども家庭センター事業	20,672
吹上地域保育園等新設整備事業	16,093
未就園児預かり保育試行事業	18,505
小・中学校適正規模及び適正配置事業	2,864
公共施設予約システム事業	15,864

④都市機能と豊かな自然が調和した住みよい快適なまちづくり

道路改修事業	140,844
幹線道路等整備事業	216,507
橋りょう維持事業	40,046
デマンド交通運行事業	104,112
駅施設等維持管理事業	18,148
(仮称)北新宿近隣公園整備事業	14,674

②いきいきと健康で充実した生活を過ごせるまちづくり

特定健康診査等事業	88,083
がん検診事業	87,961
老人福祉費庶務事業	701
難聴者補聴器購入費助成事業	
(要援護高齢者等支援事業)	5,480
(難聴児(者)補聴器購入費助成事業)	548
生活困窮者自立支援事業	19,619

⑤にぎわいと活力と魅力を創出できるまちづくり

商工会補助事業	39,613
中小企業者支援事業	16,916
空き店舗対策事業	1,677
用排水路改修事業	23,956
道の駅整備事業	180,029
こうのす花まつり開催事業	15,220

③安全・安心に暮らせるまちづくり

家具転倒防止器具等設置促進事業	199
交通安全啓発事業	3,879
地域防犯体制支援事業	14,427
配水管新設及び布設替工事	687,313
吹上第二浄水場防雷設備設置工事	197,340

⑥市民協働による一人一人が主役のまちづくり

人権啓発事業	1,534
広報かがやき発行事業	33,687
市制施行70周年記念事業	3,483
SDGs推進事業	9,523
包括施設管理業務事業	510,939
マイナンバーカード交付事業	26,359

(単位: %)

財政健全化判断比率(財政の早期健全化や再生の必要性を判断するために定められた指標)	令和6年度		令和5年度
	鴻巣市の比率	県内市町村平均比率	鴻巣市の比率
実質赤字比率(一般会計などの赤字の大きさ)	- (11.99)	-	-
連結実質赤字比率(市全体の赤字の大きさ)	- (16.99)	-	-
実質公債費比率(借入金などのその年の返済額の大きさ)	3.7 (25.0)	5.0	4.0
将来負担比率(借入金の残高など今後支払わなければならない負債の大きさ)	- (350.0)	7.8	4.1

令和6年度決算に基づく財政健全化判断比率は、早期健全化基準以内であり、引き続き財政の適正運営が行われました。
※赤字でない場合「-」で表示。

財政健全化判断比率

※ () 内の数値は早期健全化が必要とされる基準

主な審議内容

政策総務常任委員会



決算 県重点政策運動事業補助金

問 取組内容は。

答 本市のSDGs推進事業で交付を受け、大きく6つの取組を実施しました。①SDGs未来会議の開催②SDGsフェスティバルの開催③SDGsの推進ノベルティとして、このとり米ぬかクッキーと生分解性樹脂タンブラーを、市制施行70周年記念式典の記念品として配布④SDGs推進のシンボルであるコウノトリをモチーフとした婚姻届・出生届の作成⑤このとりSDGsパートナー宣言制度の構築⑥SDGsポイント制度「ブーケ」の構築です。



決算 ふるさと寄附金等

問 当初予算と差異が出た要因は。

答 当初予算では、ふるさと寄附金1億4千万円、企業版ふるさと寄附金450万円を計上しました。決算額は寄附金7593万4千円、企業版210万円、合計7803万4千円となりました。要因は返礼品が物価高騰等による全国的なニーズと合わなかったこと、企業版は直接寄附210万円と好調だったが、マッチング業務委託を通じた寄附がなかったためです。

決算 包括施設管理業務事業

問 委託に関する課題点は。

答 課題点は、不具合後に対応する事後修繕から、予兆や耐用年数を踏まえた予防修繕への移行を進めることです。

問 委託料は妥当か。

答 保守点検や修繕費を集約し、マネジメント経費も含まれています。職員の事務作業削減効果は約7.1人分です。さらに業者による月2回の巡回点検、緊急対応、24時間コール



センター、月1回の協議会開催などのメリットがあり、効果はあると認識しています。

決算 公債費の経常収支比率

問 経常収支比率は94.8%であるが、財政硬直化の軽減策は。

答 令和6年度は前年度比0.7ポイント改善の94.8%ですが、人件費や扶助費の増で財政の硬直化が進むことが懸念されます。対応としては、根幹となる市税の確保や未利用資産の売却、補助金の活用など歳入確保と、経常的な経費の抑制が必要となつてきます。具体的には行政評価に基づく事業見直し等で改善に努めます。

決算 財産に関する調書の基金

問 決算剰余金の基金積立に運用ルールはあるか。

答 市独自のルールは設けていませんが、近年は当初予算で財調基金繰入金金を10から18億円程度計上し、9月議会で繰越金の追加分を原資に繰入金の縮減や積立へ切替えるのが通例となっています。運用については、確実かつ効率的に行うため「鴻巣市公金管理・運用基準」に則り、債券運用会議にて意思決定のもとに実施しています。

文教福祉常任委員会



条例の一部改正 重度心身障害者医療費助成の拡大

問 条例改正の概要は。

答 精神障害者保健福祉手帳2級で自立支援医療を受給する方の精神通院医療費の自己負担額を助成し、定期受診の維持による再発・重症化の予防を図るものです。対象者数は995人を見込み、令和8年1月に施行予定です。

補正予算 小学校水泳指導業務委託（債務負担行為）

問 この債務負担の背景と目的は。

答 小学校プールの老朽化や将来的な維持コストを踏まえ、令和8年度から水泳実技指導を民間委託へ移行することを予定しています。今年度は業者選定のための債務負担行為を設定しています。



問 委託後の指導時間や回数は。

答 一回の指導時間は60分程度を想定しており、また委託前後で指導時間に大きな増減はありません。

補正予算 埼玉県産後ケア 事業補助金

問 直近の成果と利用者の評価は。

答 令和6年度に追加したショートステイを含め、着実に利用が進んでいます。利用者アンケートでもおおむね高評価をいただいています。予約方法や受け入れ体制について要望もあるため、委託事業者とも協議をしながら将来的なサービス向上に向けて検討していきます。

決算 民生児童委員 活動支援事業

問 事業の趣旨と主な支出は。

答 定員202名の民生児童委員の活動を支援するため、民生委員協議会へ補助金を支出しています。

問 課題は。

答 なり手不足は全国共通の課題として認識しています。広報で特集を組むなど活動内容への周知・理解を広げていきます。

決算 未就園児預かり 試行事業

問 事業の位置づけと財源は。

答 こども誰でも通園制度の試行的事業として実施しています。主な経費

は業務委託料となっており、財源は国の保育対策総合支援事業費補助金を充当しています。

問 令和6年度の利用実績は。

答 年度末時点で登録者数160人のべ利用者数は515人となっています。利用時間は日中が主で平均5時間程度となっています。

問 課題は。

答 想定より利用者が少ないため、周知に課題を感じています。また「家の近くにあれば利用したい」との要望もあるので実施施設の確保も課題として把握しています。

決算 介護認定審査事業

問 審査会の体制は。

答 市医師会や介護施設管理者・介護の有資格者等で構成されており、原則週2回開催し要介護度の審査判定を実施しています。

問 委員報酬額が減った理由は。

答 有効期間などの関係で、介護度の更新を含む申請件数が当初見込みより少なかったため、審査会開催回数が140回から126回に減少し、その結果として委員報酬が減となりました。



まちづくり常任委員会

補正予算 市営住宅施設維持管理事業

問 施設修繕料について、リフォームの内容は。

答 床、壁、天井の仕上げ材やふすまの貼り替え、玄関鍵、洗面台、換気扇などの修繕、また住戸内全体のクリーニングなどを行う予定です。

補正予算 下水道管路施設 特別重点調査業務

問 行田市で起こった事故を受け、点検時の安全確認は。

答 行田市では、調査対象が汚水と雨水の合流管で硫化水素の発生があったと聞いています。今回本市で行う調査は、雨水管で、硫化水素の発生に対する危険性はそれほど高くはないと捉えています。業者との打合せの中で、安全確認に対して指導していきます。



決算 橋りょう維持事業業

問 事後保全から予防保全への転換を図っているとのことだが、その内容と効果は。

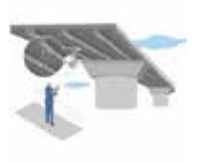
答 橋梁長寿命化修繕計画を策定し、これまでの橋梁の損傷による劣化が進行してからの事後保全ではなく、損傷

が小さいうちに補修を行う予防保全管理へ移行することにより、維持管理のコスト縮減と予算の平準化が図れると考えています。

決算 北新宿第二 土地区画整理事業

問 完了予定と令和6年度の進捗状況は。

答 完了予定については、令和15年度末の完了を目指しています。6年度の進捗状況については、事業の進捗を図るため、社会資本整備総合交付金を活用し、道路築造工事3件を実施しました。今後



決算 水道事業

問 管路経年化率が年々上昇しているが対応は。

答 管路経年化率は、地方公営企業法に定められる管路の法定耐用年数40

年を超える割合で、40年を超えた管路が増加していることを意味します。対応としては、40年過ぎて直ちに使用不可にはならないので、60年経過した管を老朽化区分とし、60年に至るまでに更新していく方針です。

決算 公共下水道事業

問 集中豪雨など災害リスクの高まりを踏まえた雨水整備計画の方針は。
答 過去の冠水実績を踏まえ令和2年度に作成した鴻巣市雨水管理総合計画に基づき雨水対策の優先順位を考えています。最近の集中豪雨により対策がさらに必要になる場合には、計画の見直しを考えていきます。



決算 農業集落排水事業

問 老朽化施設の更新や維持管理など今後の財政負担の見通し及び対応は。
答 施設老朽化で財政負担増が想定されるため、令和2年度に鴻巣市農業集落排水施設最適整備構想を策定し維持管理費用の平準化や補助金活用と計画的対策で負担軽減に努めます。

市民環境常任委員会



補正予算 新規就農総合支援事業

問 補助金742万1千円の事業採択の内容は。
答 件数は1件であり、トラクター1台、うね立てマルチ1台、タマネギ移植機1台、農産物低温貯蔵庫1台の機械を導入するものです。

補正予算 社会保障・税番号制度システム整備費等補助金

問 補助金の用途は。
答 マイナ保険証に係る周知を目的とし、リーフレットを印刷、送付することに対する補助金になります。

補正予算 後期高齢者医療特別会計庶務事業

問 システム改修委託料の内容は。
答 子ども・子育て支援法の改正により、高齢者の医療の確保に関する法律の中で規定する、後期高齢者医療保険料の徴収対象とする費用の中に、令和8年度より子ども・子育て支援納付金を含めることとされ、それに伴うシステム構築のための予算を計上しています。

決算 市民活動センター使用料

問 令和6年度の件数は。

答 市民活動センターの登録団体数は373団体、利用件数は3千114件、利用人数は3万8千663人です。そして、



フリースペースの利用人数は、市民活動団体用スペース及び自由に使用できるスペースを合わせて18万4千569人です。

決算 公共交通維持事業

問 鴻巣市コミュニティバス運営補助金の内容は。

答 鴻巣市コミュニティバスについては、多くの市民から好評を得ており、この公共交通を長く維持するためのものです。地域公共交通計画を早期に策定し、国や県の補助制度を活用することで、制度維持に努めたいと考えています。

問 バスロケーション乗降カウントシステムの利用状況は。

問 令和6年10月1日から開始していますが、閲覧件数は、7年3月31日現在で3万7千930件です。



決算 道の駅整備事業

問 これまで買収した土地の面積と価格は。

答 令和6年度末時点で、買収した土地の面積は約2万5千平方メートルで、総額は約2億2千万円です。

決算 国民健康保険事業

問 マイナ保険証の登録状況と、窓口での利用率は。

答 国民健康保険被保険者の登録は、令和6年度末時点において被保険者2万1千872人のうち1万4千541人で66.48%になっています。また、利用率は、7年3月診療分で、33.38%となっています。

決算 後期高齢者医療保険料還付金

問 保険料還付金の手続き方法は。

答 後期高齢者医療保険では葬祭費の支給があり、多くは葬祭費の申請時に、相続人の口座に振込む手続きをしています。



行政手続のデジタル化 いじめ対策・産後ケア



公明党
川崎 葉子



問行政手続のデジタル化は拡大しているが、粗大ごみ収集の申込手続のオンライン化の検討は。

答埼玉県中部環境保全組合の管内協議会に提案し、将来のオンライン化を検討していきます。

問いじめを個別の問題として捉えるのではなく、学校集会等で啓発することが重要ではないか。

答各学校全体でいじめを許さない風土を醸成するための有効な手段と捉え、各学校に対して適切な支援と助言を行っていきます。

問産後ケア事業の効果と課題は。

答令和6年度は居宅訪問型延べ25人、通所型延べ109人、宿泊型は延べ21人66日の利用と、いずれも急増しており、母親の育児不安や負担の軽減に対する効果が高い事業と考えます。予約の確保や日程調整が課題ですが、より速やかに事業の利用が出来る方法を検討していきます。

第7次鴻巣市総合振興 計画の策定は



明誠会
金子 雄一



問総合振興計画の策定にあたっての特色並びにコンセプトは。

答現在の総合振興計画の進捗等を的確に検証・分析すること、社会・経済の動向や時代の潮流及び本市の現況等に係る情報の収集・分析を行うこと、行政評価・成果指標を活用すること、第3期まち・ひと・しごと創生総合戦略及び第2版国土強靱化地域計画を連動させること、SDGs、そしてポストSDGsの視点と連動すること、人口減少に対応した計画とすること、新たな視点からの市民等の意見把握に努めること、最上位計画策定にあたって、全庁で策定体制を整えて対応することなどが特色・コンセプトです。

問その他の質問

・「市政中間報告」の取組は

・平和について学ぶ「夏休み平和スタンプラリー」の意義等

・新型コロナウイルスの感染症対策は

がん検診の更なる充実 SMSによる情報伝達



公明党
潮田 幸子



問予防医療が重要である。がん個別検診受診券圧着はがきは字が小さく、集団検診の案内も分かりづらい。改善できないか。

答集団検診情報を含め、封書による受診案内を検討しています。

問胃がん検診における胃内視鏡検査や、子宮頸がん検診におけるHPV検査の導入等、がん検診の更なる充実の考えは。

答胃内視鏡検査やHPV検査について、先進自治体の取組を参考に情報収集を進めます。

問情報伝達手段として、市からの通知のSMS（ショートメッセージサービス）活用は市民の利便性向上・業務効率化・経費削減に繋がる。導入できないか。

答SMS通知の利点を踏まえ、国保年金課で準備を進めます。

問その他の質問

・孤独・孤立支援策について

高齢者の予防接種



新未来こうのす
藤村 孝志



問20価肺炎球菌結合型ワクチン任意接種の助成は。

答肺炎球菌予防接種は現行23価が定期で、20価は任意接種です。国では23価から20価へ変更することが妥当との意見が示され、接種年齢は65歳が適切であると示されました。また、医師会からも20価導入に関する要望書が提出されています。しかし任意接種は国の救済制度の対象外となるため、本市独自の助成については慎重に判断します。

問高齢者の高用量インフルエンザワクチン任意接種の助成は。

答定期接種化は現時点で国の制度的な決定はされておらず、分科会では科学的根拠や費用対効果の検証が進められています。本市としても、高齢者の疾病負荷や標準用量ワクチンの有効率低下などを踏まえ、引き続き国の動向を注視し慎重に判断します。

手話施策推進法と 「孫育て」について



明誠会
古山 大輔



問令和7年6月25日に公布、施行された手話施策推進法についての本市の見解と取組は。

答手話言語の国際デーである9月23日の「手話の日」に合わせて庁舎前のコウノトリ・モニュメントのブルーライトアップを実施します。デフリンピック開催に向けてのPRイベントを行うなど、今後も手話施策推進方針に基づき、手話の普及促進に努めていきます。

問令和になり、子育ての方法や情報が昔と比べて変わってきた。子育てに祖父母が参加する「孫育て」。祖父母教室や孫育て講座の必要性は。

答本市で行っている子育て講座等には希望があれば祖父母の参加も可能です。父母に限らず祖父母からの相談も随時対応しており、今後も引き続き子育て支援の充実を図っていきます。

官民連携協定の締結・ 戦没者慰霊追悼の取組



こうのす未来
金澤孝太郎



問 行政のまちづくりに必要な官民連携の協定締結の重要性は。

答 自治体は民間事業者・各種団体・学校等と市民サービスの向上や地域の活性化を図るため、官民連携協定を締結しています。本市は23の包括連携協定を、200を超える分野別協定を、まちづくり全般や防災・福祉・子育て等の分野で締結し、業務の効率化や財政負担の軽減等を図っています。民間事業者等が、地域での役割を担うことで社会的価値向上にもつながります。

問 終戦から80年を迎えた、戦没者慰霊・追悼の今後の取組は。

答 遺族会の会員が年々減少し、運営が厳しい状況です。過去の戦争にまつわる啓発や記憶の継承は、重要となります。戦争や平和に関する情報収集に努め、平和事業の実施方法を工夫し、平和の尊さを次の世代に引継ぐ取組を継続していきます。

小学校プール民間委託 身寄りがない高齢者は



公明党
茂利 博之



問 来年度民間委託する鴻巣北小以外の小学校の民間委託は。

答 鴻巣北小の民間委託の効果や課題の検証を踏まえた上で大規模改修が必要となった小学校から民間委託を検討していきます。

問 民間委託による効果は。

答 天候に左右されない計画的な授業、プール施設の改修費削減、教職員の負担の軽減、専門的な指導、事故や緊急時の体制が整備されていることによる安全性の向上などが挙げられます。

問 本市としてエンディングプランサポート事業の取組は。

答 本市では実施に至ってはいませんが高齢者が鴻巣で暮らして良かったと思ってもらえるよう地域包括ケアシステムの深化・推進に努めていきます。

問 その他の質問

・小中学校の熱中症対策は
・無縁仏の実情と対応と取組は
・戦争の悲惨さを次世代に継承

雨水対策 西部第3排水区



かいえんたい
秋谷 修



問 大間3号調整池の整備を先に進められないのか。

答 増設する調整池は大間1号調整池と一体的に効果を発揮させるため、連絡管で接続する計画としています。大間1号調整池と大間3号調整池の接続箇所において市道に布設されている雨水幹線が支障となり、2つの池を直接繋ぐことが困難であることから、事業効果や優先性等を勘案し大間2号調整池の認可を取得し事業着手しています。



マンションの防災対策 市はどこまで関われる



新未来こうのす
後藤 耕佑



問 震災・風水害ではマンション特有の防災対策が必要だが、市はどこまで把握しているか。

答 防災体制の基盤となる自主防災組織はマンション単独で14団体を確認していますが、その他、地区の自治会に含まれている場合もあり形態は様々です。

問 不十分な防災体制では在宅避難が困難になり、避難所ひっ迫の恐れがある。市独自のマンション防災マニュアル導入など、マンションごとに自主防災が組織されるよう強力に後押しする必要があると思うが見解は。

答 各マンションに応じた防災マニュアルの作成が効果的と考えます。現在は県の手引きを参考に、自治防災組織や管理組合等が中心となり推進してもらうことを想定しています。市独自のマニュアルやその他の広報手段については先進自治体を注視し、調査研究していきます。

学校給食費の公費負担 継続と質の確保は。



新未来こうのす
中西耕二郎



問 令和7年度値上げ相当分の月額600円を公費負担しているが、継続や拡大の考えは。

答 市単独の負担は、厳しい状況ですが、子育て支援や転入・定住を促す契機になることも考えられるため、国や県の動向を注視し、調査研究していきます。

問 給食の「質の確保」は。

答 献立は、献立作成部会で協議された後、物資選定部会で、価格だけでなく味や品質を審査したうえで食材を選択し決定されます。食材の価格高騰は課題ですが、創意工夫を凝らし「栄養バランス」はもちろんのこと、食育を推進するためにも多様な献立を取り入れ「質の確保」をしていきます。

問 その他の質問

・学校給食のない長期休みの期間におけるこどもの支援は
・中学校の給食時間について
・こども食堂について





イベント開催時の 女性用トイレへの配慮



明誠会
田中 克美



問 今後開催予定のイベントについて、女性用トイレへの配慮について伺う。

答 本市は、市民や来訪者、イベントに関わるすべての方の健康と安全を守り、安心して快適にイベントを満喫していただける環境を整えるため、各イベントの主催者と意識の共有を図るとともに、今後開催されるイベントでは、女性用トイレへの配慮について、関係団体と連携して適切な対応に努めていきます。

問 「このす花火大会」は女性も多いと思うが、今年の仮設トイレの設置はどうなるのか。

答 本市は、主催者である「このす花火実行委員会」に対しまして、安全で快適なイベント運営に向けて、仮設トイレの設置において、設置場所や女性用トイレの確保について、配慮するよう協力を求めています。

中高生の居場所づくり 地域連携ネットワーク



新未来このす
高橋 亜紀



問 鴻巣市にぎわい交流館「このす」の長期休業期間における中高生の「学習や交流の場」としての活用とその周知は。

答 まずは中高生の利用ニーズを把握し、関係部署や指定管理者と連携して検討を進めます。周知については、市のホームページや指定管理者のホームページSNSなどで行います。

問 地域の「気づき」は、子どもから高齢者までを守る大切なものである。他市では「地域見守りネットワークガイドライン」を整備している。通報や対応の流れを整理した仕組みの構築が必要と考えるが市の考えは。

答 令和7年4月から「鴻巣市地域連携ネットワーク」として、地域の連携の強化を進めています。実効性のあるものにするために、ガイドラインの策定を、年度内を目途に進めます。

共同親権施行までの準備は



明誠会
芝寄 和好



問 来年5月に民法改正となる共同親権で、すでに離婚している父母への対応は。

答 民法等改正法の施行後は施行前に離婚し、単独親権の定めをしている場合でも共同親権への変更を申し立てることが可能となります。共同親権への変更について市に相談があった場合、法務省作成の資料等に掲載されている内容について案内するとともに、単独親権から共同親権への変更については家庭裁判所への申し立てが必要であり、この手続には弁護士等への相談が必要と考えるため、市が行っている無料の法律相談や国が設置している法テラスを案内していきます。



その他の質問

・木造住宅密集地の防災は

自治会・町内会支援 まちのコインの活用



かいてんたい
坂本 国広



問 コロナ後の自治会・町内会主催の会食会等の再開支援は。

答 財政支援やマニュアル提供等により、地域活動を尊重し、活性化を支援していきます。



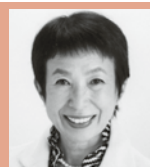
問 自治会・町内会のデジタル化支援は。

答 ITサポート相談窓口を自治会へ周知し、他自治体のデジタル化支援制度や先進事例を参考に調査研究を進めます。

問 「まちのコイン」の自治会・町内会での活用は。

答 地域活動の活性化に「まちのコイン」を活用している事例があり、本市でも広報紙や自治会長研修会で周知してきました。今後は出前講座や市長と語る地域懇談会を通じて紹介し、楽しみながら自治会活動に参加できる機会の創出に努めます。

義務教育学校の再検討 不登校対策は喫緊課題



日本共産党
譚訪三津枝



問 歴史ある川里地域の学校を閉校して建設する義務教育学校は、学校教育の何を改め、何を新しく創造しようとしているのか。

答 具体的な教育内容や学校の運営方法については、「川里中学校区小中一貫教育推進連絡協議会」等で意見をいただき、施設整備と並行して検討を進めます。

問 小中一貫校に対する専門的な識見のある学識経験者を交え、原点に立ち返り検討する考えは。

答 9年間の学年段階の区切りなど、学校形態等に関して、児童生徒・保護者・教職員・学識経験者等と検討していきます。

問 本市の不登校児童数は。

答 令和2年度147名、3年度196名、4年度211名、5年度222名と増加傾向です。

問 不登校のきっかけに学校由来もあるのでは。

答 魅力ある学校づくりに取り組みます。

イネカメムシ防除に補助金を出すことは



日本共産党
竹田 悦子



問 JAさいたま・JAほくさいから、昨年水稻の高温障害及びイネカメムシによる農作物被害に対する農業者支援についての要望が出ている。こうした支援要望に応えてだと思いが、JAほくさいエリアの行田市、羽生市、加須市はイネカメムシ防除に対する補助金を、10アール当たり1000円を出している。JAほくさいエリアで、鴻巣市のみが補助金を出していない。農業者支援に対する市の姿勢が問われている。近隣市と同様にイネカメムシ防除の補助金を出すことは。

答 今年のイネカメムシによる被害状況や近隣の市町の動向を踏まえて調査研究をしていきます。

問 ほかに要望は出していないか。

答 川里地域の2つの水利組合と鴻巣市内の3つの土地改良区から出ています。

吹上第一・第二浄水場に関する過機がない件について



社民党
西尾 綾子



問 吹上第一・第二浄水場に関する過機がないのは問題ではないか。市民に安全安心な水を供給できるのか。

答 吹上地域の地下水は塩素消毒のみで使用可能な良質な水である上、井戸を定期的に巡回点検したり、法令等に基づく定期的な水質検査を実施することにより、水質の変化や異常がないかを継続的に監視しています。

問 感染症を引き起こすクリプトスポリジウム等の原虫は塩素では死滅しない。事故が起こってからでは遅い。危機管理上どう考えているか。

答 市民に安心安全な水道水を供給することは、水道事業者の重要な責務です。耐塩素性病原生物などの危機管理上の対応についても、法令等に基づいた水源から給水栓に至るまでの水質検査の徹底などの対応が必要であると考えています。

スポーツ施設利用時の暑さ対策は



かいえんたい
大塚 佳之



問 今年の夏は、厳しい暑さの連続で、気象観測史上多くの記録を更新した。全国各地で、40℃超えを記録した。来年も猛暑続出が予想されるため、健康管理や増進には適度な運動が必要である。体調管理は個々の責任が原則であるが、施設側の配慮も重要。現状や今後について伺う。

答 施設管理者が常駐している施設では、熱中症アラートをお知らせすると同時に、緊急時の対応をしています。管理者が常駐していない施設では、利用者の判断に委ねているのが現状です。常駐者の有無に拘らず、こまめな休憩と水分補給を呼び掛けています。すべての施設に、冷房が効く設備設置は難しい状況です。埼玉県熱中症予防の取組として、まちのクールオアシスがあります。現在、75カ所ありますので、施設利用者を含め皆さんへ周知していきます。

行政委員に対する質問

投票率向上に向けた施策について伺う

公明党 川崎 葉子

問 第27回参議院議員通常選挙では、投票支援カードの導入、投票所入場券に音声コード（ユニボイス）が付されるなど、多様な市民への配慮が進められたが、市民の投票行動への影響は。

答 投票環境の改善を図ることで以前よりも投票しやすくなったと考えています。

問 年齢および男女別の投票率について傾向や課題は。

答 60歳を境に男性の投票率が女性よりも高くなる傾向があります。課題は19歳から30歳までの若年層や70歳以上の高齢者の投票を促進することと考えています。

問 子どもたちへの選挙啓発は。

答 令和6年度明るく選挙啓発ポスターコンクールには77人の児童生徒から応募をいただきました。また、選挙の際には、市内の高等学校に依頼し、3駅において啓発品の配布を通して投票の呼びかけを行っています。

郵便投票をした人数改善を要望することは

日本共産党 竹田 悦子

問 国民の人権を実現するために参政権の保障はとても大事です。身体が不自由な方、寝たきりの方は投票所に行くことができないことが多いと思います。こうした場合、郵便投票制度があります。私の調査では要介護5の方、身体障害者手帳1・2級の方など約1500人は対象となります。郵便投票制度の登録者数と今回の参議院選挙で同制度を利用した投票者数は。

答 郵便等投票証明書の交付を受けている人は23人で、今回投票した人は17人でした。

問 郵便投票制度は、国が定める制度だが、要介護3の方、身体障害者など認定の対象を広げ改善しても良いのではないかと考えます。国に要望することは。

答 郵便等投票制度を利用できる対象の拡大について、全国市区選挙管理委員会連合会を通じて国に毎年要望を行っています。



ようこそ 鴻巣市議会へ!

本市の先進的な取組に対する視察を受け入れました。



(令和6年11月～令和7年10月)

日程	議会名	視察項目
R6.11/20	兵庫県稲美町議会	スケートパークについて
R7.5/12	千葉県野田市議会	公共交通施策について
5/20	福岡県宗像市議会	教育 ICT の推進「のすっこ未来教室」について
5/21	三重県伊勢市議会	ICT 教育を活用した学校教育の取組について
5/22	兵庫県丹波市議会	教育 ICT 環境の整備について
7/30	愛知県豊橋市議会	校務 DX の取り組みについて
8/6	秋田県大館市議会	包括施設管理業務事業について
10/14	熊本県人吉市議会	包括施設管理業務事業について
10/24	福島県会津若松市議会	地域公共交通の取り組みについて



熊本人吉市議会 視察風景



上谷総合公園スケートパーク



コミュニティバス フラワー号



鴻巣中央小学校
のすっこ未来教室



昨年度に引き続き、埼玉県議会からシエイクアウト訓練への参加の願いがあり、9月5日、本市議会でも、大地震が発生したと想定し、11時58分にシエイクアウト訓練を実施しました。

シエイクアウト訓練後は、ヘルメットを着用し、5階の議場から1階へ避難し、その後、ラインワークスのアンケート機能を活用し安否確認を実施しました。災害はいつどこでも起こり得ることを改めて認識することができました。

シエイクアウト埼玉
鴻巣市議会も参加しました!



お問い合わせ
埼玉県議会事務局
政策調査課広報担当
048-830-6257

※詳しい放送スケジュールは、埼玉県議会ホームページをご覧ください。

新春インタビュー

令和8年1月1日(祝・木)
10時～10時30分

特別委員会たより

令和7年11月23日(日)
10時～10時30分

今後の放送予定

県議会の各定例会の様や委員会委員長インタビューなど、県議会に関するさまざまな情報をタイムリーに放送します。すてきな商品が当たるプレゼントコーナーもあります。

埼玉県議会
「こんにちは県議会です」

提出議案とその結果

(令和7年9月定例会)

議会では上程された議案を、所管する4つの常任委員会（政策総務・文教福祉・まちづくり・市民環境）に付託し、審査を重ねます。その上で、本会議で各議案に対する賛成の立場を起立によって表明します。

●次の議案は全会一致で同意・可決・認定されました。

議案番号	議案名
第68号	人権擁護委員の推薦について
第69号	人権擁護委員の推薦について
第70号	鴻巣市の鳥の制定について
第71号	鴻巣市障害者支援施設条例の一部を改正する条例
第73号	鴻巣市職員等の旅費に関する条例等の一部を改正する条例
第74号	鴻巣市重度心身障害者医療費支給に関する条例の一部を改正する条例
第75号	鴻巣都市計画事業原馬室・滝馬室土地区画整理事業施行規程等の一部を改正する条例
第76号	市道の路線の廃止について
第77号	市道の路線の認定について
第78号	鴻巣市下水道条例等の一部を改正する条例
第80号	令和7年度鴻巣市国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）

議案番号	議案名
第81号	令和7年度鴻巣市介護保険特別会計補正予算（第1号）
第83号	令和7年度鴻巣市公共下水道事業会計補正予算（第2号）
第87号	令和6年度鴻巣都市計画事業北新宿第二土地区画整理事業特別会計決算認定について
第88号	令和6年度鴻巣都市計画事業田中央特定土地区画整理事業特別会計決算認定について
第90号	令和6年度鴻巣市水道事業会計利益の処分及び決算認定について
第91号	令和6年度鴻巣市公共下水道事業会計利益の処分及び決算認定について
第92号	令和6年度鴻巣市農業集落排水事業会計利益の処分及び決算認定について
第93号	鴻巣市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例等の一部を改正する条例
第94号	鴻巣市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例
第95号	令和7年度鴻巣市一般会計補正予算（第5号）

●賛否が分かれた議案は次のとおりです。

議案 番号	議 案 名	議決結果	会派名（各会派最左が代表者）																								
			新未来こうのす					明誠会			公明党			かいえんたい		こうのす未来	日本共産党	社民党	無所属の会	鴻巣維新の会							
			小泉晋史	藤村孝志	中西耕一郎	高橋亜紀	後藤耕佑	芝野和好	田中克美	金子雄一	古山大輔	潮田幸子	橋本稔	川崎葉子	茂利博之	秋谷修	大塚佳之	坂本国弘	金澤孝太郎	織田京子	竹田悦子	諏訪三津枝	西尾綾子	矢島洋文	羽鳥健	市ノ川徳宏	
第72号	工事請負契約の締結について	原案可決	欠	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	キ	キ	キ	●	●	●			
第79号	令和7年度鴻巣市一般会計補正予算（第4号）	原案可決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	×	×	×	●	●	●			
第82号	令和7年度鴻巣市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）	原案可決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	×	×	×	●	●	●			
第84号	令和6年度鴻巣市一般会計決算認定について	認 定	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	×	×	×	●	●	●			
第85号	令和6年度鴻巣市国民健康保険事業特別会計決算認定について	認 定	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	×	×	×	●	●	●			
第86号	令和6年度鴻巣市介護保険特別会計決算認定について	認 定	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	×	×	×	●	●	●			
第89号	令和6年度鴻巣市後期高齢者医療特別会計決算認定について	認 定	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	×	×	×	●	●	●			
議 提 第3号	生活保護基準引下げ「違法」の最高裁判所の判決を踏まえ、速やかな対応を求める意見書	否 決	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	●	●	●	×	キ	×			

●は議案に対して賛成、×は反対、キは棄権、欠は欠席 ※議長は採決に加わらず ※並び順は議決順です




このす議会だより

あなたのお気に入り「写真」を表紙にしませんか

テーマ「鴻巣市内で撮影した写真」
2月15日発行号（12月定例会号）締切：11月28日（金）まで

このす議会だより 表紙募集

詳細は鴻巣市議会HPをご覧ください！

